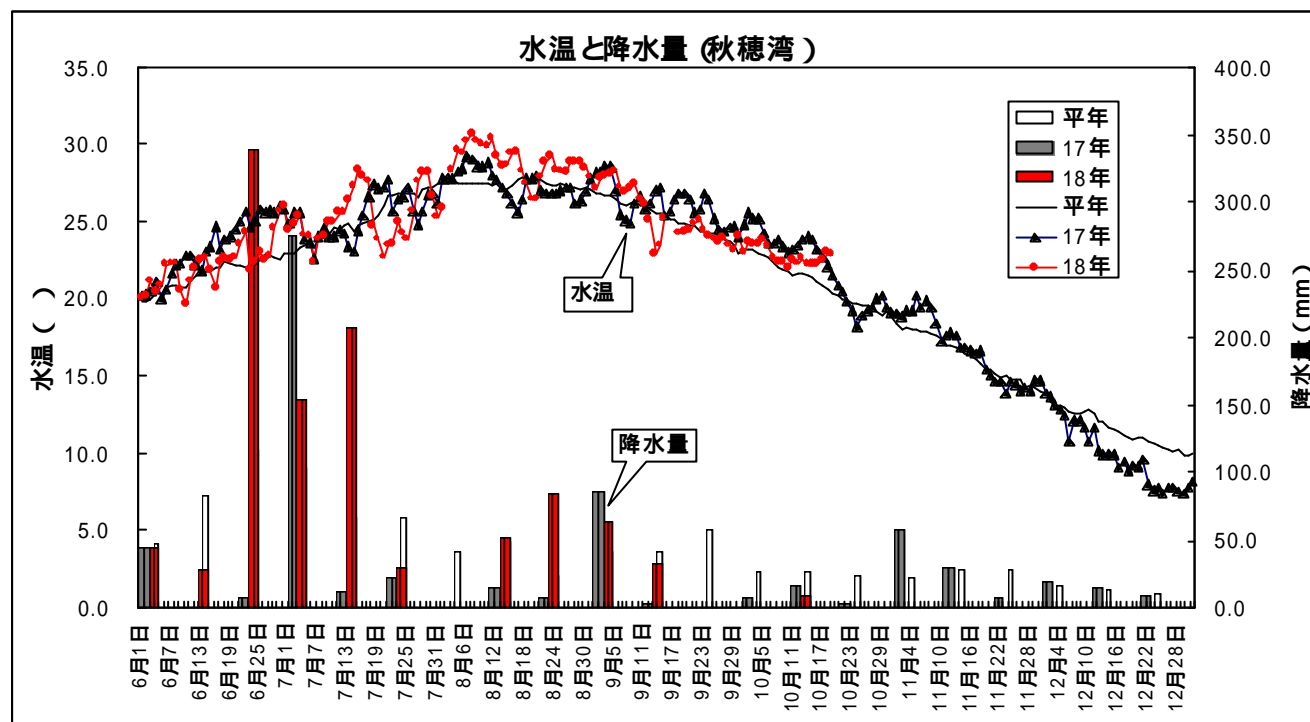


## 1 気象・海況

### (1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は10月まで低下傾向を示し、平年並みとなっていました。10月上旬以降の陽気により、水温は横ばいから、やや上昇傾向となっています。10月19日の秋穂湾の水温は22.9で平年より1.5高い状態となっています。各漁場の10月16日～17日の水温は下関地区21～21.5、宇部地区で22.5～24となっています。降水量は平年に比べ非常に少なく、10月上旬で平年の30%程度となっています。



### (2) 栄養塩

地区	DN	PO <sub>4</sub> -P
下関地区	平均 45 $\mu$ g/l (低 41~ 高 49 $\mu$ g/l) 平年比 34%、前年比 37%	平均 6 $\mu$ g/l (低 6~ 高 7 $\mu$ g/l) 平年比 40%、前年比 31%
宇部地区	平均 22 $\mu$ g/l (低 3~ 高 123 $\mu$ g/l) 平年比 36%、前年比 88%	平均 4 $\mu$ g/l (低 3~ 高 6 $\mu$ g/l) 平年比 36%、前年比 40%
防府地区	平均 41 $\mu$ g/l (低 21~ 高 62 $\mu$ g/l) 平年比 88%、前年比 152%	平均 11 $\mu$ g/l (低 10~ 高 11 $\mu$ g/l) 平年比 87%、前年比 64%

宇部地区では著しくかけ離れた測定値を除外してあります。

## 2 採苗・育苗

野外採苗が下関地区で10月5日～10月7日で実施されました。採苗は概ね順調に推移し、芽付きはやや厚めのものが多い結果となっています。育苗は下関地区、高泊地区で実施されていますが、栄養塩が非常に低い状況からノリ芽の色調は薄く、中には色落ち状態や成長不良の網も散見されています。また、ドタによる網汚れが酷い状況が続く、各地区とも網洗い作業が頻繁に行われています。

## 3 生産

10月19日から高泊地区でタンチサイの生産が開始されました。栄養塩が非常に低い状況から製品の色調は浅い状態です。本格的な生産は10月2日以降となる見込みです。

## 4 注意事項

宇部地区の一部漁場を除き、全域で栄養塩が非常に少ない状況となっています。今後の海況・潮回りを勘案しながら育苗作業を行って下さい。

## 5 他県の状況

(大分) 野外採苗は3日から開始し、現在は網展開中。栄養塩は低めで推移。

(福岡) 12日で野外採苗はほぼ終了。肉眼視可能サイズに。水温が平年より高めで推移。

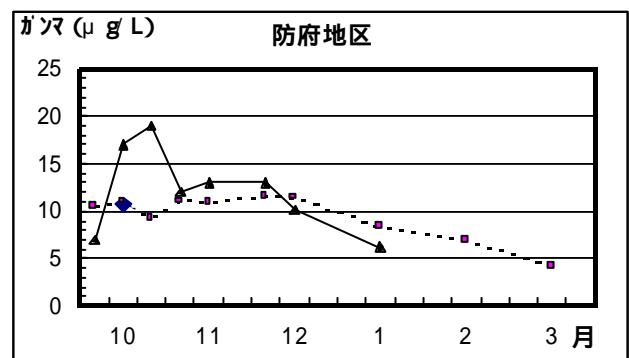
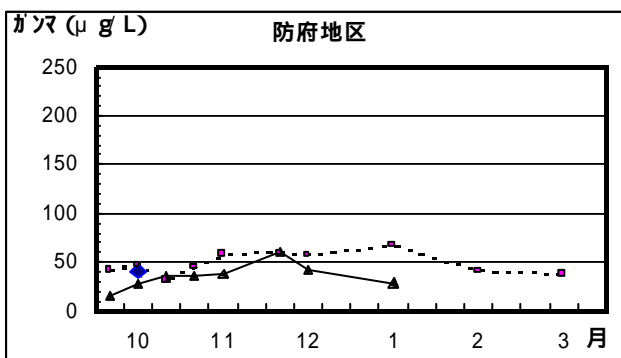
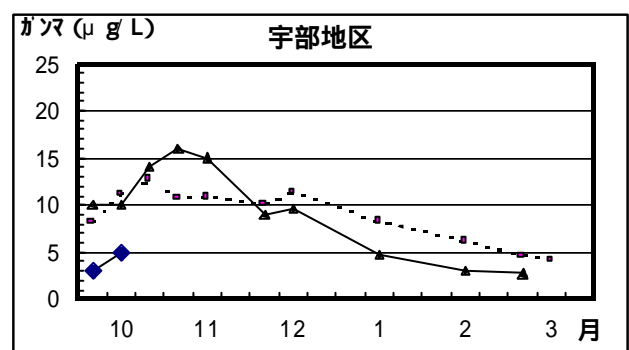
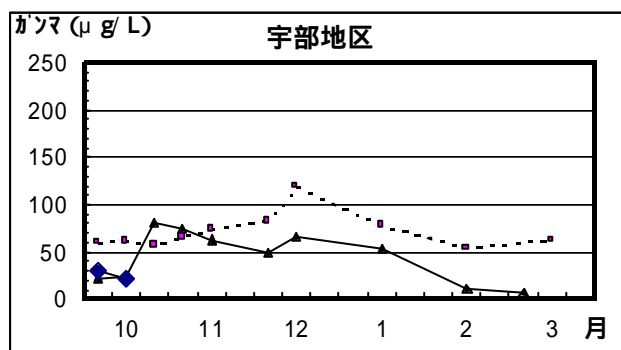
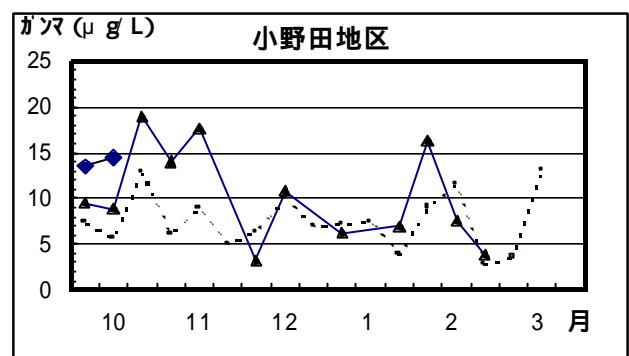
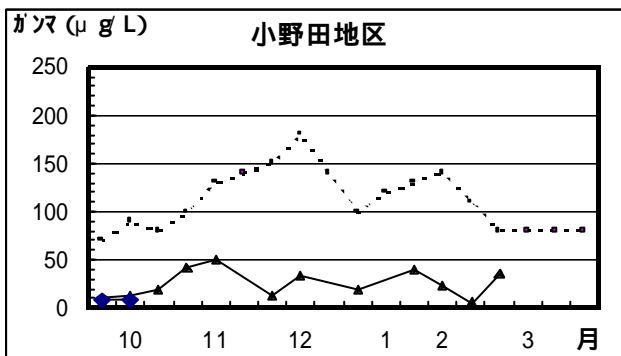
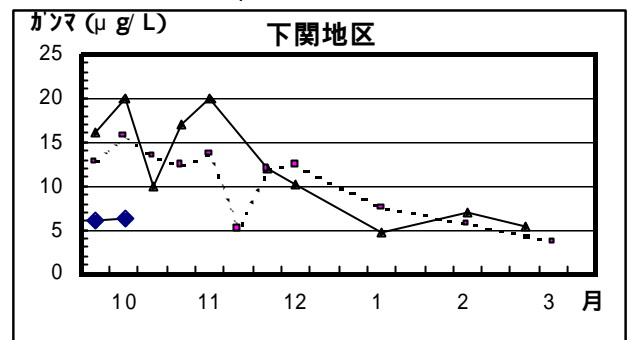
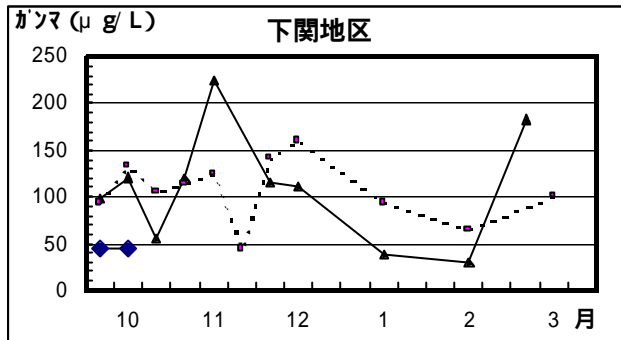
(佐賀) 12日で野外採苗はほぼ終了。順調に推移。

(熊本) 栄養塩の減少が顕著。水温も横ばい状態。

### 栄養塩調査結果 (10月17日)

(DIN)

(PO<sub>4</sub>-P)



( — 18年度、    • 17年度、 ... 平年、小野田地区分析 :山陽小野田市環境調査センター